

パリ DAC 通信(2008年 DAC 議長報告の公表)

DAC 事務局が2008年 DAC 議長報告 (Development Cooperation Report) を公表します。

■ドイツ議長が就任して初めての DAC 議長報告

2008年 DAC 議長報告は、ドイツ議長が2008年1月に就任した後の最初の議長報告となります。例年、DAC 議長報告第1章は議長による概観となっており、2008年 DAC 議長報告第1章では、食糧価格高騰、資源価格高騰、金融危機という国際環境を踏まえ、9月に開催された「援助効果向上のためのアクラ・ハイレベルフォーラム(HLF)」で採択された AAA(アクラ行動計画)を実践に移していく重要性が強調されています。

■「援助効果向上」が報告書の主眼

2008年はアクラ HLF により援助効果向上の取組の重要性が再確認されたこともあり、2008年 DAC 議長報告では、アクラ HLF で特に重要とされた「援助の断片化(の是正)」や「援助の予測可能性向上」について、独立した章を設け、DAC の様々な取組について論じています。また、第2回パリ宣言モニタリング調査の結果である「進展がみられるが、ペースは遅い」という結論からも、援助効果向上の取組を強調し、さらに、パリ宣言がジェンダー平等性、環境の持続可能性、人権等のアジェンダをいかに推進できるかについても論じるなど、援助効果向上に主眼が置かれた内容となっています。

■6つの章からなる2008年 DAC 議長報告

2008年 DAC 議長報告は6章から構成されており、各6章のタイトルは以下の通りです。

- 第1章:「グローバリゼーション:開発政策の変化する背景」
- 第2章:「援助はどれだけ断片化しているか」
- 第3章:「援助はどれだけ予測可能か」
- 第4章:「パリ宣言関連の報告書が語ること」
- 第5章:「より俯瞰した眺望:パリ宣言と広範な開発の目標」
- 第6章:「ドナー各国の取組と政策」

■我が国の ODA 額は5位に転落

なお、2008年 DAC 議長報告第6章には、2007年 ODA 額の最終値が掲載され、我が国の ODA 額の5位が確定しました。また、同様に掲載されている DAC 事務局によるシミュレーションでは、2010年には、我が国の ODA 額は米、独、英、仏、伊に次ぐ第6位になるとされています。

2008年 DAC 議長報告はこちら(www.oecd.org/dac/)に掲載される予定です。